

景観まちづくり学習助成事業実施校

学校名 飯山市立秋津小学校

① 学習指導案

プログラム	No. 8 「わたしたちのまちに言葉のおくりもの」
単元名 (全 時間)	秋津の田園風景を発信しよう
学習のねらい	地域の風景を写真に収める学習を通して、地域のよさや人々の交流、残されている自然の美しさなどを再発見し、地域の景観はそうした人々の生活が一体となって構成されていることに気づくことができる。
学習内容	1 自分のお気に入りの秋津地区の田園風景を写真に収めてみよう 2 気に入った写真について、気づいたことや感じたことをもとに言葉を付けてみよう 3 秋津地区の田園風景をいろんな人にみてもらおう
参考資料 準備品 実施場所等	・児童は、デジタルカメラもしくはタブレットを利用して写真撮影を行う。 ・田や畑を中心に秋津地区の田園風景を撮影する。

学習の流れ

時間	学習活動	教師の指導	評価
課題設定 2H	・地域のよさや特徴について意見を出し合う。 ・グループを作り、どんな写真を撮るかテーマを決める。	・写真を撮りに行くときのポイントや注意点を説明する。	活動の関心・意欲 (観察) 課題設定能力 (観察)
写真撮影 2H	・自分たちの決めたテーマの写真を撮る。	・「グループで相談して、秋津のよさが発信できる写真を撮ってましょう。」	課題追及(観察) 表現力(写真)
情報発信 2H	・どの写真を、どのように並べるか話し合う。 ・気に入った写真について、気づいたことや感じたことを言葉にして添える。 ・自分たちのテーマに沿ってまとめを行い、情報発信する。		コミュニケーション力 (発表、作品)

<留意点>

- ・交通安全に気を付け、周囲に気を配って活動するように伝える。

② 事業実施報告書詳細

学校名 飯山市立秋津小学校

【第1時】 地域の良い景色やお気に入りの景色を思い出し、発表し合う（場所 教室）

子どもたちは、自分の家から見える景色や登下校時に見る景色など、一人一人がお気に入りの場所を発表した。子どもたちは、学級のみんなに景色を見せたいという思いをもった。次時、実際に現場に行き、友だちに景色を紹介すると共に、デジタルカメラやタブレットで景色を撮ることになった。

【第2、3、4時】 いい景色を写真に撮ろう①（場所 秋津地区、北方面）

子どもたちは、自分の家の畠から見える景色、家の前から見える景色、高社山、新幹線飯山駅、静間神社、飯山の街並み、雪景色などを「いいでしょ？きれいでしょ？」と友に紹介し、景色を撮影した。



【第5、6時】 いい景色を写真に撮ろう②（場所 秋津地区、南方面）

子どもたちは、蓮駅（寺の敷地内にある駅でめずらしいと思われる）、飯山線、高社山、信濃豊乃神社、五位野神社、どんど焼き、田んぼなど「すごくきれい」「こんなにきれいなところあったんだ」とうれしそうに景色を撮影した。



【第7時】 どうしてその景色を選んだのか紹介しよう

子どもたち書いた文章

「この写真は学校のうらのおかからとったものです。遠くにしんかんせんの線路が見えます。飯山駅におりる人もふえて街がにぎやかになりました。私たちがすんでいる秋津は自然がゆたかで大好きです。」「この写真は、紅葉した木と山がきれいです。畑や田んぼは農家の人が一つ一つ丁寧に気持ちをこめて作っています。そんな気持ちのこもった田んぼや畑がいっぱいの秋津が大好きです。」



【第8時】 授業参観でお気に入りの景色を紹介しよう

子どもたち一人一人がお気に入りの写真（景色）を掲示しながら、景色について紹介した。子どもたちは「どうしてこの景色がお気に入りなのか、自分の気持ちをおうちの人たちに説明できてくれた」と感想をもった。

【第9時】 地域の人にお気に入りの景色を紹介しよう

秋津地区活性化センター（地域の人が集まる場所）に子どもたち全員のお気に入りの景色（写真）を掲示した。子どもたちは、活性化センターの所長さんから、見た人が喜んでいたと伝えられ、満足そうな表情をしていた。



③ 実施内容について

(1) 実施にあたり工夫した点

- ・自分たちの近くにある景色を撮影して、その良さを誰かに発表しようという目的をもつことによって、普段何気なく見ている景色の良さに気づくことができた。
- ・保護者や地域の方にお気に入りの景色を紹介するという目的によって、景色に対する自分の思いをまとめたいという意欲を高めることができた。

(2) 実施にあたり苦労した点

- ・実際に地域に出かけることにより、生き生きと景色を観察し、普段何気なく見ている景色の素晴らしさに気づくことができた。ただ、学校外に出るということで、事故だけは絶対ないようにと気を配った。

(3) 児童の反応

- ・地域に出かけ、自分のお気に入りの景色を伝えたり、伝えられたりしながら、楽しく生き生きと、地域の景色を写真に撮ることができた。
- ・地域の畑や田んぼは、作っている人の苦労や思いがつまっているという感想をもち、景観に対して関心を高めた。
- ・子どもの書いた文章「気持ちのこもった田んぼや畑がいっぱいの秋津が大好きです。」という感想などから、地域の魅力を実感し、地域への愛着を高めることができた。

(4) 担当教諭及び担当外教諭の変化

- ・景観学習によって、故郷の魅力を学習できると改めて感じた。
- ・子どもたちにとって、野外に出て本物を観察することが学習に有効であり、活き活きとした表情で学習できることを再確認できた。

(5) 今後の課題と取り組み（児童の思考過程と指導内容との関連付けから、留意すべき事項等）

- ・子どもたちは地域への愛着が高まりつつある。実際に地域に対してどのような取り組みができるか考え方行動していきたい。